

「高く超える主の道、主の思い」(2018. 7. 15)

天が地を高く超えているように、わたしの道はあなたたちの道を、わたしの思いはあなたたちの思いを、高く超えている。(イザヤ 55:9)

『God is not Dead』(神は死んだのか)という映画が2014年3月に全米で公開され、3日間で856万ドルという驚異の興行収入を記録した。クリスチャンの大学生と無神論者の哲学教授との“神の存在証明”を巡る大激論の行方を描き、知的刺激に満ちあふれ、現代に信仰を問う映画である。この映画は日本では数か所でしか上映されなかったが、DVDは発売されている。ネタバレになるかもしれないが、なぜ哲学教授が無神論者になってしまったか、その一因が子供の頃に愛する母が亡くなったことにある。上掲のみ言葉は自分の息子を心配して、遺言として手紙に残した母の言葉だったのである。

7月8日(日)、「ワーシップソングによる賛美礼拝」が開催された。「新しい歌を主に向かって歌え！」雲然先生のギターの音とT姉のリードに合わせ、参加者28名が耳を澄まし、心からの賛美を捧げた。また、体験に裏打ちされた雲然先生のメッセージは聞く者に励ましと希望を与えてくれた。横手教会のこれまでとは全く異なった礼拝スタイルにも関わらず、概ね皆さん好意的に受け止め、共に喜びながら礼拝を捧げた。さらに、初めて教会に見えられた方が数名、しかも近隣の方もおられた。誘い合って礼拝に臨まれた皆さん、祈りで支えてくれた皆さん、お一人おひとりに主の祝福をお届けします。「忠実な良い僕だ。よくやった。」(マタイ 25:21)



ただ、残念だったことがある。それは高校生や若者が一人も来なかったことである。横手高校ではこの日模擬試験があったようで、他校も同じかもしれない。他にも理由があるかもしれない。朝早くチラシ配りに汗を流してくれた方々はがっかりした事と思う。でも、私たちは高く超えている主の道や主の思いに希望を持ち続けたいと思う。「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださるのは神です。」(Iコリント 3:6) 私たちは自分に与えられた分に応じて仕えればいいのです。だから、「忠実な良い僕だ。よくやった。」(マタイ 25:21) この主の祝福を心に響かせていいのです。

「見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。」(イザヤ 43:19)